

▼ 題字 ▼
なかつ
は、私が書きました。



なかいわ せいご
中岩 誠悟 さん
【城井小6年】



学びたい教育のまち なかつ 北部幼稚園 (大字大塚)

北部幼稚園は歴史ある街並みやお寺、福澤旧居、三百間の砂浜など、素晴らしい文化と自然が残っている北部校区にある公立幼稚園です。祇園やお神楽など、地域の中には、たくさんのお祭りがあります。手作りの太鼓をたたいたり、段ボールで祇園車を作ってホールや園庭を走り回ったり、お面や衣装を作ってお神楽舞をしたりして、幼稚園の活動や遊びの中にも地域の祭りを再現しています。

北部小学校との合同運動会では、小学校の広いグラウンドで力いっぱい祇園車を引っ張りました。小学生が太鼓やかね打ちで、園児たちを盛り上げてくれました。

昨年度新築された明るくて気持ちの良い園舎で、子どもたちはますます元気いっぱいにのびのびと活動しています。





人口と世帯
(12月24日現在) (前月比)

総人口	84,000 人	(+34)
男	40,561 人	(+37)
女	43,439 人	(-3)
世帯数	39,861 世帯	(+58)

表紙説明【まなびん館・しめ縄作り】

12月7日、まなびん館の後期短期講座で約30人の参加者が「しめ縄作り」に挑戦しました。参加者の多くは初心者ということで、悪戦苦闘しながらも、楽しみながらしめ縄を完成させました。

まなびん館では、通年講座や前・後期短期講座、生涯学習大学(今号6ページ参照)などで、さまざまな講座を行っています。募集の際は市報にも掲載しますので、興味のある人はぜひご参加ください。



しつなぐ

オリンピック・パラリンピックの年に

中津市長 奥塚 正典

前回の東京オリンピック開催は56年前の昭和39年、小学校5年生、テレビにかじりついて応援しました。ちょうど新幹線が東京・大阪間を走り始め、テレビは約9割の家庭にあるものの、大半は白黒テレビ、三種の神器と言われた洗濯機、冷蔵庫の普及率はそれぞれ約6割、4割でした。さて、この間、世の中は大きく変化。人間が月に行き、家電の新三種の神器やスマートフォンが出現、当時の小学生が描いた夢の多くは実現したようです。叶っていないのは「ドラえもん」の世界、「タイムマシン」と「どこでもドア(瞬間移動機)」ですかね。さあ、これからの50年、どうなるでしょう。世界の人口は増えるのに日本では減ります。AIが進化し、ロボットが大活躍するでしょう。これまでのように技術革新がさらに進み生産性が向上。時代の抱える難題を解決し新しい文明と平和な世の中を創出していくことが期待されます。

どのような時代になるかと、この中津で幸せに暮らしていくためには、人が互いに助け合い日常が安全で心が満ち足りていく社会が肝要です。そのためには、産業の基盤づくり、人材の育成環境との共生など未来の土台となるものは今のうちからしっかり積み上げ作っていかねばなりません。そして「住みたい、帰りたい、行ってみたいまち中津」に向かって一緒に懸命に歩んでいく「連携力」が求められます。

50数年前の流行歌「若者たち」(藤田敏雄作詞は、「君の行く道は希望へと続く」と歌われます。そして今、2020年、対照的なリズムで子どもたちが元気に歌い踊る『パプリカ』(米津玄師作詞)は、「花が咲いたら 晴れた空に種を蒔こう」とこれまた前向きです。歌の結びは、「かかと弾ませこの指とまれ」。ビッグイベントのこの年、市民の皆様と一緒に前進、未来を開く一年にしたいものです。



パプリカを踊る子どもたち

「市報なかつ」がアプリで読める!

多言語で読める! Catalog Pocket



自然保護のためこの市報は古紙再生紙を使用しています